



平成25年8月7日

平成25年度学校基本調査（速報値）の公表について

文部科学省は、学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的として、標記調査を昭和23年度より毎年実施しています。
今般、平成25年度の速報をとりまとめたので、公表します。

1 調査内容

- 調査期日：平成25年5月1日現在
- 調査対象：幼稚園，小学校，中学校，高等学校，中等教育学校，特別支援学校，大学，短期大学，高等専門学校，専修学校及び各種学校並びに市町村教育委員会
- 調査項目：学校数，在学者数，卒業者数，就職者数，進学者数等

2 調査結果の主な概要（カッコ書きのカタカナは次ページ以降の図表とリンク。）

- 在学者数**（P1の表1，P2の表2及びP3の図1を参照。）
 - 小学校は667万7千人（ア）で，前年度より8万8千人（イ）減少し，過去最低を更新。（表1）
 - 中学校は353万6千人（ウ），高等学校は332万人（エ）で，前年度より微減。（表1）
 - 特別支援学校は13万3千人（オ）で，前年度より3千人（カ）増加し，過去最高を更新。（表1）
 - 大学（学部）は256万2千人（キ）で，前年度より1千人（ク）増加。（表2）
 - 大学院は25万5千人（ケ）で，前年度より8千人（コ）減少。平成23年度に過去最高を更新後，2年連続で減少。（表2）
 - 専門学校（専修学校（専門課程））は58万8千人（サ）で，前年度より9千人（シ）増加。4年連続で増加。（3ページのグラフでは専修学校に含まれる。）（表1）
- 高等学校卒業者の進学率**（P4の表3及びP5の図3を参照。）

－専門学校への進学率は4年連続で上昇－

 - 大学・短大進学率（現役） 53.2%（ス）（前年度より0.4ポイント低下）
 - 大学（学部）進学率（現役） 47.4%（セ）（前年度より0.3ポイント低下）
 - 専門学校進学率（現役） 17.0%（ソ）（前年度より0.2ポイント上昇）

また、過年度卒業者を含む進学率（就学率）についてもおおむね同様の傾向。

- ④大学・短大進学率（過年度卒を含む） 55.1%（前年度より1.1ポイント低下）
- ⑤大学（学部）進学率（過年度卒を含む） 49.9%（前年度より0.9ポイント低下）
- ⑥高等教育機関進学率（過年度卒を含む） 77.9%（前年度より1.4ポイント低下）

（3）就職率（P4の表3，P7の表4，P10の表5，P11の表6を参照。）

－高卒，大卒及び大学院卒（修士課程）は3年連続上昇－

- ①高卒就職率 16.9%（タ）（前年度より0.2ポイント上昇）
- ②大卒就職率 67.3%（チ）（前年度より3.4ポイント上昇）
- ③大学院卒就職率（修士課程） 73.7%（ツ）（前年度より0.4ポイント上昇）
- ④大学院卒就職率（博士課程） 65.9%（テ）（前年度より1.4ポイント低下）

（4）大卒者のうち，安定的な雇用に就いていない者の占める割合（P7の表4）

－前年度より2.2ポイント低下し，20.7%－

大卒者の「就職者」のうち「正規の職員等でない者」と、「一時的な仕事に就いた者」及び「進学も就職もしていない者」の合計は11万6千人。

これらの安定的な雇用に就いていない者の卒業者に占める割合は20.7%（ト）で，前年度より2.2ポイント低下。

その他の主な結果は，別紙のとおり。

なお，詳細集計表は「政府統計の総合窓口（e-Stat）」のホームページに掲載。

（<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/NewList.do?tid=000001011528>）

＜担当＞ 生涯学習政策局政策課調査統計企画室	
室長	柳澤 好治（内線3476）
専門官	青山 文彦（内線2016）
学校基本調査係長	山本 典子（内線2264）
専門職	望月 香里（内線2264）
電話：03-5253-4111（代表）	
03-6734-2264（直通）	

平成25年度学校基本調査(速報値) 調査結果のポイント

I. 学校数, 在学者数, 教員数

1. 小学校, 中学校, 高等学校等

< 在学者数 >

- 小学校は, 特にここ5年は減少傾向にあり, 前年度より8万8千人減少し, 過去最低を更新。
- 中学校は353万6千人, 高等学校は332万人で, 前年度より微減。
- 特別支援学校は13万3千人で, 前年度より3千人増加し, 過去最高を更新。
- 専門学校(専修学校(専門課程))は, 58万8千人で, 前年度より9千人増加。4年連続で増加。

< 教員数 >

- 教員数のうち女性の教員数は, 高等学校と特別支援学校で過去最高。また, その割合も30.7%(前年度より0.4ポイント上昇)と60.3%(前年度より0.2ポイント上昇)で過去最高。

表1 初等中等教育機関等の学校数, 在学者数, 教員数

区分	学校数(校)				在学者数(人)				教員数(人)		
	総数	国立	公立	私立	総数	国立	公立	私立	総数 (人)	うち女性(人)	女性の比率 (%)
幼稚園	(-127)	(-)	(-107)	(-20)	(-20,561)	(-145)	(-9,163)	(-11,253)	(306)	(346)	(0.1)
	13,043	49	4,817	8,177	1,583,664	5,785	274,164	1,303,715	111,142	103,764	93.4
小学校	(-328)	(-)	(-329)	(1)	(-87,671) ^(イ)	(-1,146)	(-86,184)	(-341)	(-1,146)	(-1,482)	(-0.2)
	21,132	74	20,837	221	6,676,948 ^(ア)	42,111	6,556,537	78,300	417,561	261,124	62.5
中学校	(-71)	(-)	(-76)	(5)	(-16,462)	(-124)	(-14,433)	(-1,905)	(480)	(770)	(0.2)
	10,628	73	9,784	771	3,536,201 ^(ウ)	31,456	3,255,326	249,419	254,233	108,114	42.5
高等学校	(-41)	(-)	(-42)	(1)	(-35,851)	(-30)	(-40,449)	(4,628)	(-2,138)	(321)	(0.4)
	4,981	15	3,646	1,320	3,319,758 ^(エ)	8,585	2,287,653	1,023,520	235,086	72,105	30.7
中等教育学校	(1)	(-)	(1)	(-)	(1,582)	(155)	(1,486)	(-59)	(177)	(70)	(0.6)
	50	4	29	17	30,226	3,014	19,134	8,078	2,369	765	32.3
特別支援学校	(21)	(-)	(21)	(-)	(2,574) ^(カ)	(-23)	(2,577)	(20)	(1,277)	(975)	(0.2)
	1,080	45	1,021	14	132,568 ^(オ)	3,033	128,736	799	77,664	46,863	60.3
専修学校	(-31)	(-)	(-3)	(-28)	(10,083)	(-50)	(-284)	(10,417)	(45)	(25)	(-)
	3,218	10	196	3,012	660,584	480	26,613	633,491	40,469	21,039	52.0
うち高等課程を置く学校	(-9)	(-1)	(-)	(-8)	(-132)	(-)	(-16)	(-116)	(-100)	(-65)	(-0.3)
	443	2	7	434	39,566	23	559	38,984	2,750	1,547	56.3
うち専門課程を置く学校	(-35)	(-)	(-3)	(-32)	(9,381) ^(シ)	(-48)	(-259)	(9,688)	(146)	(107)	(0.1)
	2,812	10	193	2,609	587,500 ^(サ)	361	26,035	561,104	36,406	19,190	52.7
各種学校	(-62)	(-)	(-)	(-62)	(3,548)	(-)	(-84)	(3,632)	(-108)	(-54)	(-0.2)
	1,330	-	9	1,321	123,743	-	796	122,947	8,846	3,550	40.1

(注) 1 ()は, 前年度からの増減値である。

2 専修学校の「うち高等課程を置く学校」と「うち専門課程を置く学校」は延べ数である。

例えば, 高等課程と専門課程の両方を設置する専修学校はそれぞれの欄に1校ずつとして計上されている。

2. 大学, 短期大学, 高等専門学校

< 在学者数 >

○ 大学全体, 大学院のいずれも, 長期的に見て増加傾向にあったが, 平成23年度過去最高になり, 2年連続減少。

①大学 286万9千人で, 前年度より7千人減少。

②学部 256万2千人で, 前年度より1千人増加。

③大学院 25万5千人で, 前年度より8千人減少。

○ 大学学部の女子学生は111万4千人で, 前年度より1万2千人増加し, 過去最高。
その占める割合は, 43. 5%(前年度より0. 5ポイント上昇)で過去最高。

○ 短期大学学生は, 平成5年度をピークに, 翌年度から減少し続け, 平成に入ってからは過去最低。

< 教員数 >

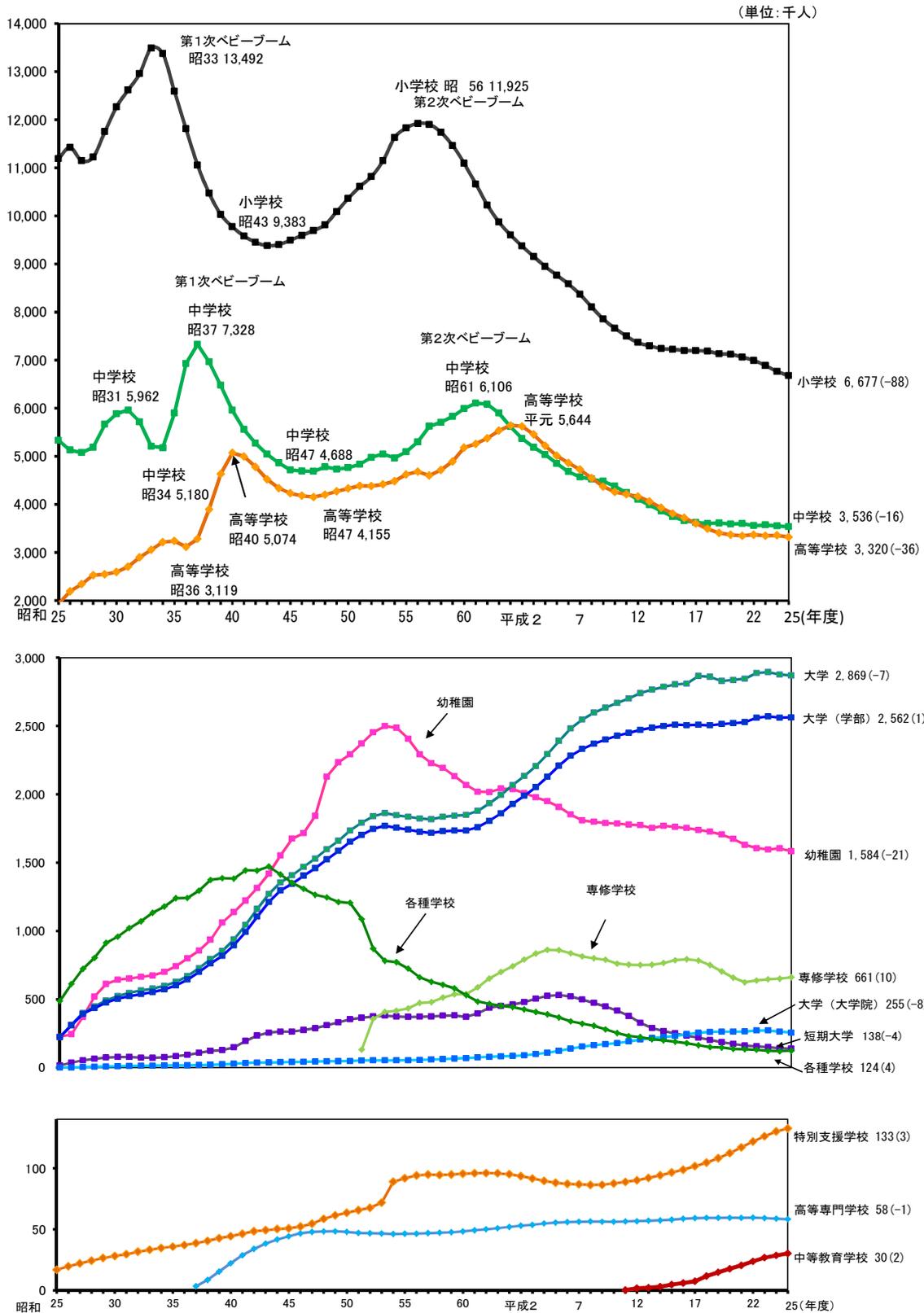
○ 大学全体の女性の教員数については, 連続して増加し, 3万9千人(前年度より1千人増加)で過去最高。また, その教員全体に占める割合は, 21. 9%(前年度より0. 7ポイント上昇)で過去最高。

表2 高等教育機関の学校数, 在学者数, 教員数

区分	学校数(校)				在学者数						教員数		
	総数	国立	公立	私立	総数			国立	公立	私立	総数	うち女性(人)	女性の比率(%)
					(人)	うち女子(人)	女性の比率(%)						
大 学	(-1)	(-)	(-2)	(1)	(-7,206)	(9,880)	(0.5)	(-3,349)	(581)	(-4,438)	(1,240)	(1,351)	(0.7)
	782	86	90	606	2,868,928	1,216,014	42.4	614,785	146,159	2,107,984	178,810	39,071	21.9
	(-3)	(-)	(-)	(-3)	(1,255) ^(ウ)	(12,197)	(0.5)	(-836)	(844)	(1,247)			
	752	82	86	584	2,562,164 ^(キ)	1,113,841	43.5	447,974	127,144	1,987,046			
	(3)	(-)	(-1)	(4)	(-7,899) ^(コ)	(-2,058)	(0.1)	(-2,428)	(-115)	(-5,356)			
	624	86	74	464	255,390 ^(ケ)	78,402	30.7	152,340	16,161	86,889			
	(2)	(-)	(-1)	(3)	(-6,209)	(-1,754)	(0.1)	(-1,864)	(-213)	(-4,132)			
	586	86	70	430	162,694	48,659	29.9	94,668	10,685	57,341			
	(-2)	(-)	(-1)	(-1)	(-396)	(-84)	(-)	(-374)	(92)	(-114)			
	434	77	55	302	73,920	24,408	33.0	51,063	4,682	18,175			
(-2)	(-)	(-)	(-2)	(-1,294)	(-220)	(0.7)	(-190)	(6)	(-1,110)				
126	45	6	75	18,776	5,335	28.4	6,609	794	11,373				
(-1)	(-)	(-)	(-1)	(-1,417)	(-394)	(-)	(-245)	(-21)	(-1,151)				
73	23	2	48	8,262	2,281	27.6	3,143	244	4,875				
(-13)	(-)	(-3)	(-10)	(-3,713)	(-3,296)	(-)	(-)	(-268)	(-3,445)	(-283)	(-69)	(0.9)	
359	-	19	340	138,257	122,173	88.4	-	7,649	130,608	8,633	4,427	51.3	
(-)	(-)	(-)	(-)	(-538)	(166)	(0.4)	(-523)	(-75)	(60)	(-1)	(23)	(0.5)	
57	51	3	3	58,227	9,681	16.6	52,291	3,881	2,055	4,336	356	8.2	

(注) 1 ()は, 前年度からの増減値である。
2 大学の在学者数には, 学部, 大学院生のほか, 専攻科・別科の学生, 聴講生等を含む。
3 学校数のうち数については, 在学者がいる学校数を計上している。

【参考】各学校段階ごとの在学者数の推移(図1)



- (注) 1 ()内の数は、前年度からの増減値(単位:千人)である。
 2 特別支援学校は、平成18年度以前は盲学校、聾学校及び養護学校の計である。
 3 大学の在学者には、学部、大学院生のほか、専攻科・別科の学生、聴講生等を含む。

II. 卒業後の状況

1. 高等学校(全日制・定時制)卒業生(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ。)

- 就職率は3年連続で上昇し、16.9%(前年度より0.2ポイント上昇)。
- 大学・短大進学率(現役)は、平成22年度をピークに、ここ3年は微減し、53.2%(前年度より0.4ポイント低下)。
- 大学(学部)進学率(過年度卒含む)は、平成23年度をピークに、ここ2年は微減し、49.9%(前年度より0.9ポイント低下)。
- 大学・短大入学志願率も、平成22年度をピークに、ここ3年は微減し、60.4%(前年度より0.2ポイント低下)。(P5の図4参照。)
- 専門学校進学率は4年連続上昇し、17.0%(前年度より0.2ポイント上昇)。

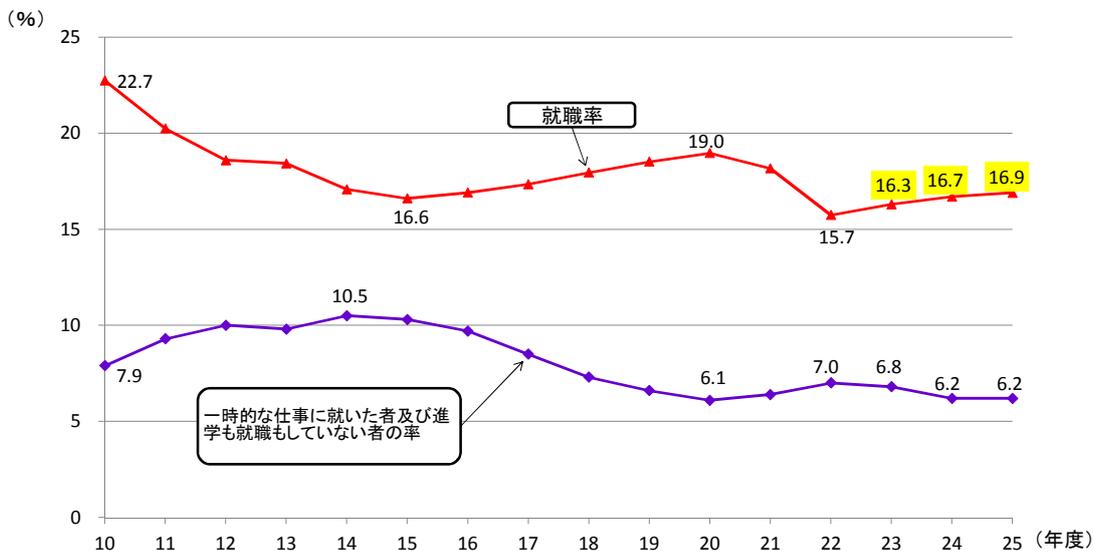
表3 高等学校卒業後の状況

区分	卒業生	大学・短大進学率(率)		専門学校進学率(率)	就職者(率)	一時的な仕事に就いた者(率)	進学も就職もしていない者(率)	不詳・死亡	(人(%))
		うち大学(学部)進学者(率)	うち大学(学部)進学者(率)						
平成16年3月	1,235,482	560,055 (45.3)	459,456 (37.2)	237,279 (19.2)	208,907 (16.9)	27,003 (2.2)	92,666 (7.5)	216	
17年3月	1,203,251	568,710 (47.3)	473,263 (39.3)	228,867 (19.0)	208,747 (17.3)	22,855 (1.9)	78,922 (6.6)	267	
18年3月	1,172,087	578,525 (49.4)	490,242 (41.8)	213,122 (18.2)	210,442 (18.0)	19,232 (1.6)	66,434 (5.7)	140	
19年3月	1,148,108	587,999 (51.2)	505,951 (44.1)	193,156 (16.8)	212,635 (18.5)	16,358 (1.4)	59,962 (5.2)	410	
20年3月	1,089,188	575,659 (52.9)	500,631 (46.0)	167,092 (15.3)	206,628 (19.0)	12,862 (1.2)	53,757 (4.9)	230	
21年3月	1,065,412	574,333 (53.9)	503,840 (47.3)	156,363 (14.7)	193,615 (18.2)	13,592 (1.3)	54,678 (5.1)	158	
22年3月	1,071,422	582,272 (54.3)	513,013 (47.9)	170,352 (15.9)	168,727 (15.7)	15,560 (1.5)	59,703 (5.6)	299	
23年3月	1,064,074	573,679 (53.9)	507,509 (47.7)	172,200 (16.2)	173,566 (16.3)	14,994 (1.4)	56,965 (5.4)	369	
24年3月	1,056,387	565,779 (53.6)	503,545 (47.7)	177,486 (16.8)	176,931 (16.7)	13,892 (1.3)	51,922 (4.9)	283	
25年3月	1,091,617	581,138 (53.2)	517,398 (47.4)	185,546 (17.0)	184,702 (16.9)	13,624 (1.2)	53,939 (4.9)	302	

(注) 1 「就職者」には大学・短大、専門学校等に進学した者のうち就職している者を含む。

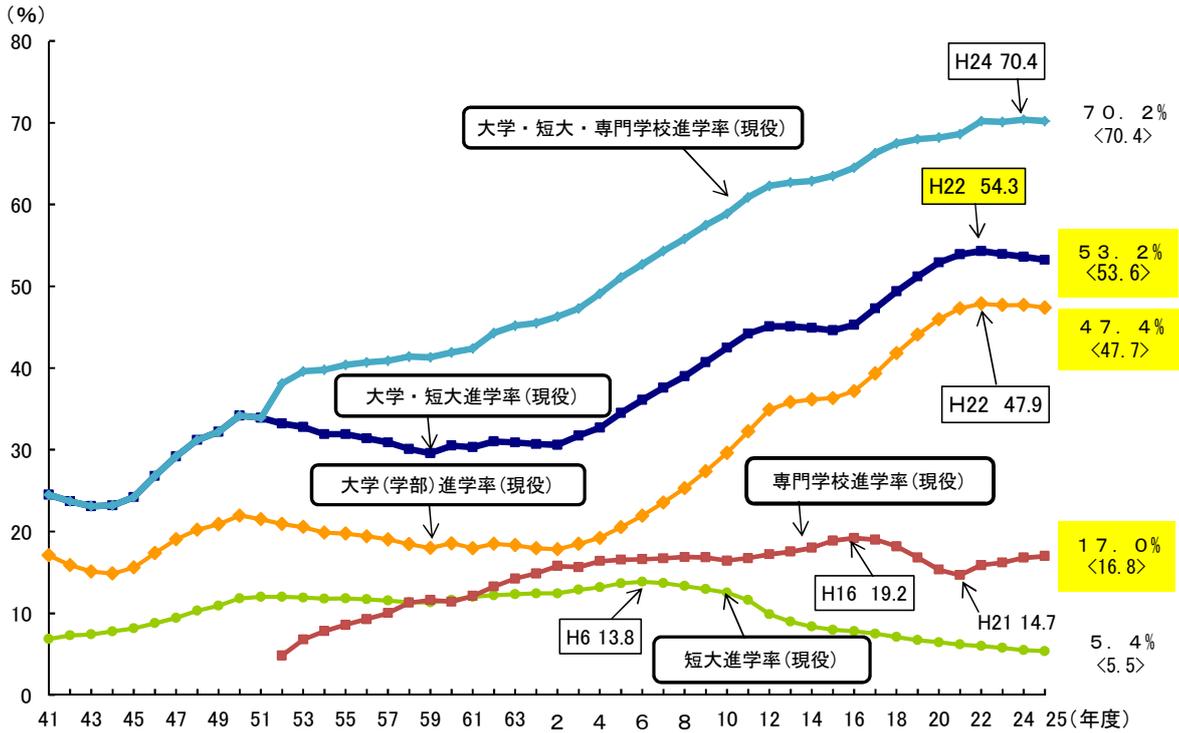
- 2 大学・短大進学率 = $\frac{\text{大学の学部、短期大学の本科、大学・短期大学の通信教育部、同別科及び高等学校・特別支援学校高等部の専攻科に進学した者}}{\text{各年3月の高等学校卒業生及び中等教育学校後期課程卒業生}}$
- 3 就職率 = $\frac{\text{就職者}}{\text{各年3月の高等学校卒業生及び中等教育学校後期課程卒業生}}$

(1) 就職状況 高等学校卒業生の就職率の推移(図2)



(2) 進学状況

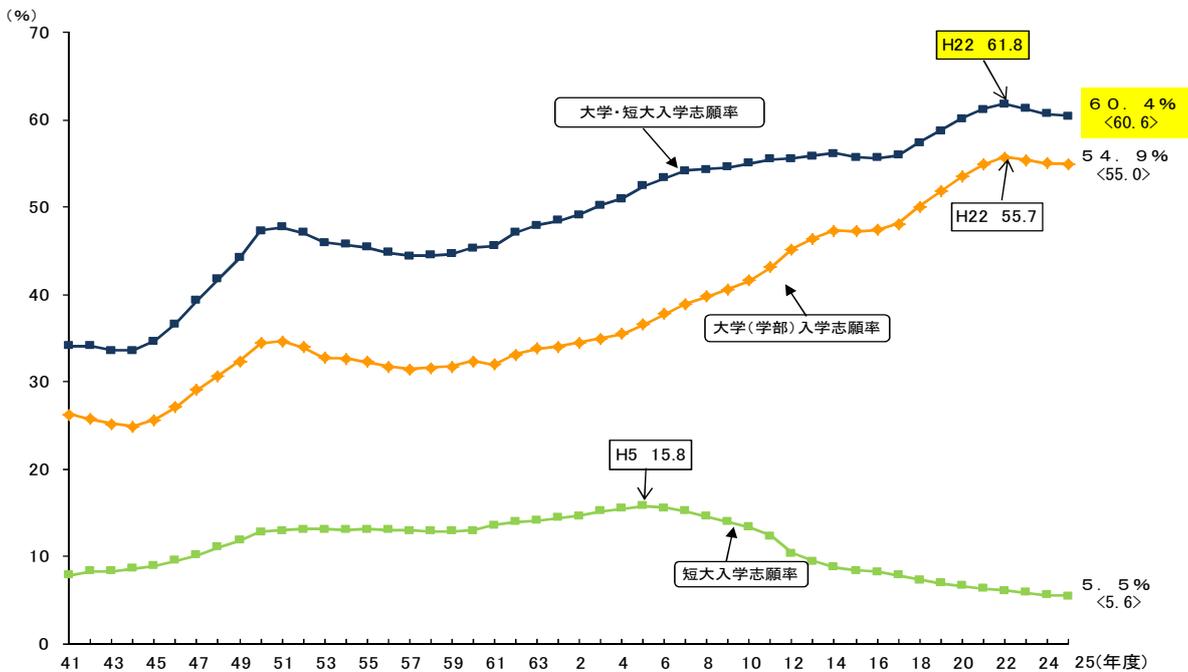
① 高等学校卒業者の進学率の推移(現役進学率)(図3)



- (注) 1 <>は前年度の数値である(以下同じ)。
 2 図中の枠囲いは、最高値である(以下同じ)。

3 大学・短大進学率(現役) =
$$\frac{\text{大学の学部, 短期大学の本科, 大学・短期大学の通信教育部, 同別科及び高等学校・特別支援学校高等部専攻科に進学した者}}{\text{各年3月の高等学校卒業生及び中等教育学校後期課程卒業生}}$$

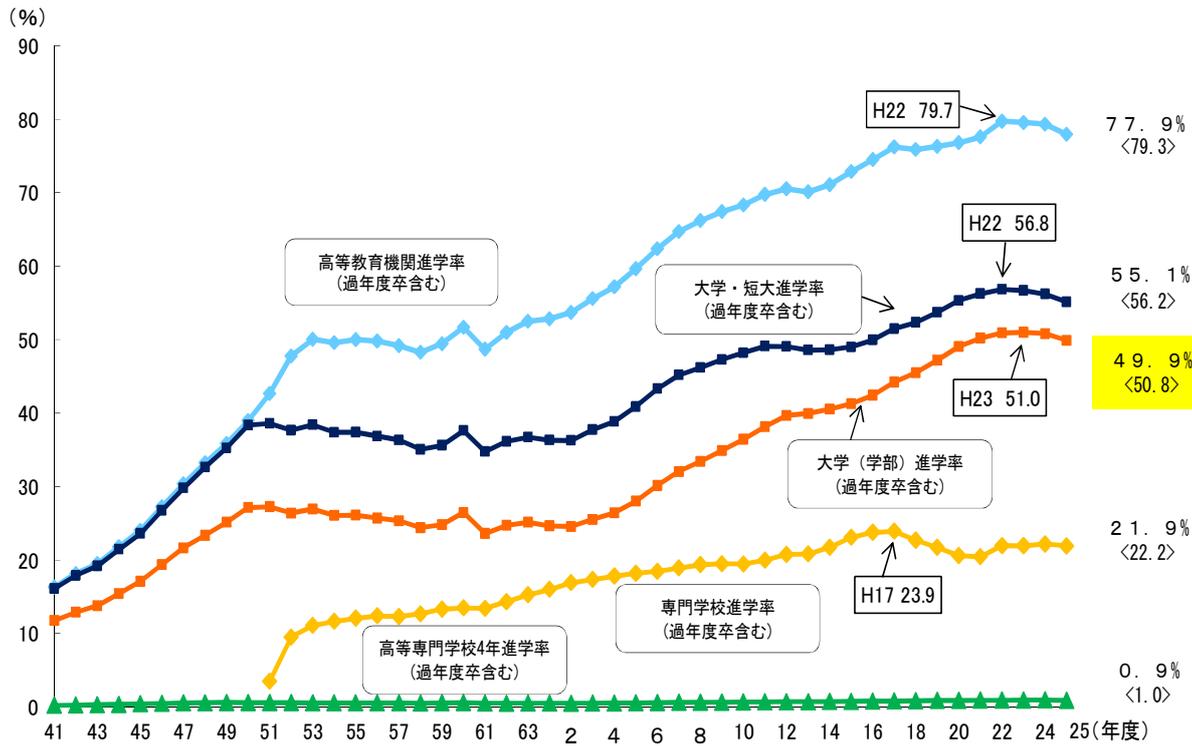
② 入学志願率の推移(図4)



- (注) 1 入学志願率(現役) =
$$\frac{\text{入学志願者数(実数)}}{\text{各年3月の高等学校卒業生及び中等教育学校後期課程卒業生}}$$

 2 入学志願者数 = 高等学校卒業生及び中等教育学校後期課程卒業者のうち、大学や短大へ願書を提出した者の実数。同一人が2校(学部・学科)以上に願書を提出した場合も1名として計上。

③過年度卒業者を含めた進学率(就学率)の推移(図5)



- (注) 1 高等教育機関進学率(就学率) (過年度卒含む) =
$$\frac{\text{大学・短期大学入学者, 高等専門学校4年在学者及び専門学校入学者}}{\text{18歳人口(3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者)}}$$
- 2 大学(学部)進学率(就学率) (過年度卒含む) =
$$\frac{\text{大学(学部)の入学者}}{\text{18歳人口(3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者)}}$$

3. 大学(学部)卒業者

- 進学率はゆるやかな上昇傾向にあったが、平成22年度をピークに、3年連続低下し、13.0%(前年度より0.8ポイント低下)。
- 就職率は、平成22年度に急激に低下したが、その後3年連続で上昇し、67.3%(前年度より3.4ポイント上昇)。
- 「正規の職員等でない者」と「一時的な仕事に就いた者」、「進学も就職もしていない者」を合算すると、11万6千人となり、安定的な雇用に就いていない者の卒業者に占める割合は、20.7%で、前年度より2.2ポイント低下。

表4 大学(学部)卒業後の状況

区分	卒業者	進学者(率)	就職者(率)		一時的な仕事に就いた者(率) ②	進学も就職もしていない者(率) ③	不詳・死亡(率)	安定的な雇用に就いていない者(率) ①+②+③	
			うち正規の職員等でない者 ①	(率)				(人)	(%)
平成16年3月	548,897	77,022 (14.0)	306,414 (55.8)	...	24,754 (4.5)	110,035 (20.0)	22,699 (4.1)
17年3月	551,016	78,169 (14.2)	329,125 (59.7)	...	19,507 (3.5)	97,994 (17.8)	18,398 (3.3)
18年3月	558,184	79,337 (14.2)	355,820 (63.7)	...	16,659 (3.0)	82,009 (14.7)	15,108 (2.7)
19年3月	559,090	77,165 (13.8)	377,776 (67.6)	...	13,287 (2.4)	69,296 (12.4)	12,503 (2.2)
20年3月	555,690	76,343 (13.7)	388,480 (69.9)	...	11,485 (2.1)	59,791 (10.8)	10,803 (1.9)
21年3月	559,539	78,265 (14.0)	382,485 (68.4)	...	12,991 (2.3)	67,894 (12.1)	8,904 (1.6)
22年3月	541,428	86,039 (15.9)	329,190 (60.8)	...	19,332 (3.6)	87,174 (16.1)	10,807 (2.0)
23年3月	552,358	82,657 (15.0)	340,217 (61.6)	...	19,107 (3.5)	88,007 (15.9)	13,521 (2.4)
24年3月	558,692	76,856 (13.8)	357,088 (63.9)	21,993 (3.9)	19,569 (3.5)	86,566 (15.5)	9,797 (1.8)	128,128 (22.9)	...
25年3月	558,853	72,821 (13.0)	375,959 (67.3)	22,786 (4.1)	16,850 (3.0)	75,928 (13.6)	8,523 (1.5)	115,564 (20.7)	...

- (注) 1 卒業者数は、表章された内訳のほか、臨床研修医(予定者含む)(平成25年度8,870人)を含めた合計。
 2 「就職者」とは、給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を得る仕事(自家・自営業を含む)に就いた者をいう。なお、就職者には、「大学院等への進学者のうち就職している者」(98人)を含む。
 3 就職者のうち、「正規の職員等でない者」とは、雇用の期間が1年以上で期間の定めのある者で、かつ1週間の所定労働時間が30~40時間の者をいう。(P9参照)
- 4 進学率 = $\frac{\text{大学院研究科, 大学学部, 短期大学本科, 大学・短期大学の専攻科, 別科, 専修学校, 外国の学校へ入学した者}}{\text{各年3月の大学学部卒業者}}$
- 5 就職率 = $\frac{\text{就職者}}{\text{各年3月の大学学部卒業者}}$

図6 大学(学部)卒業者の就職率等の推移

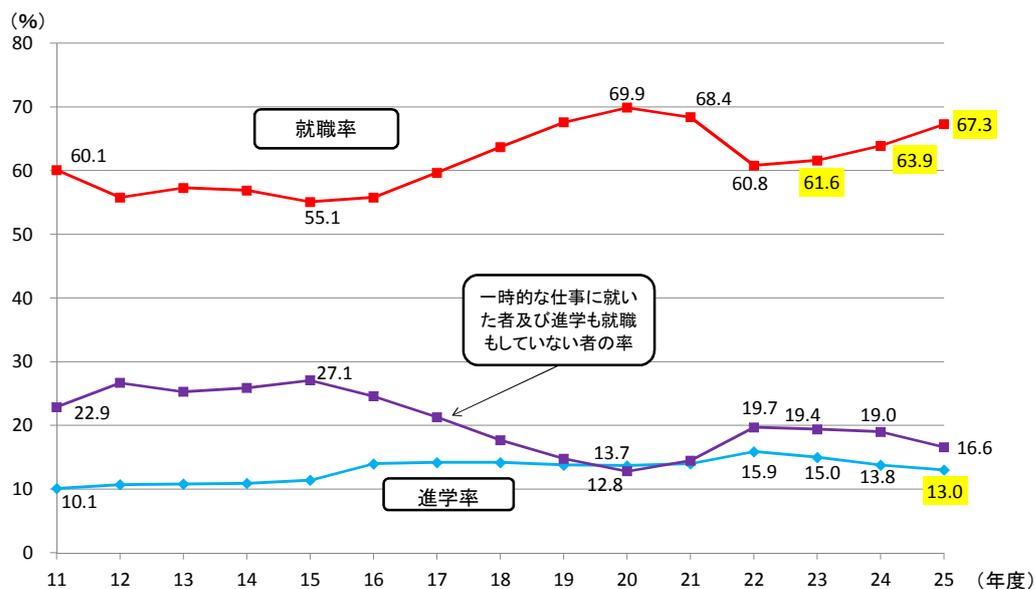
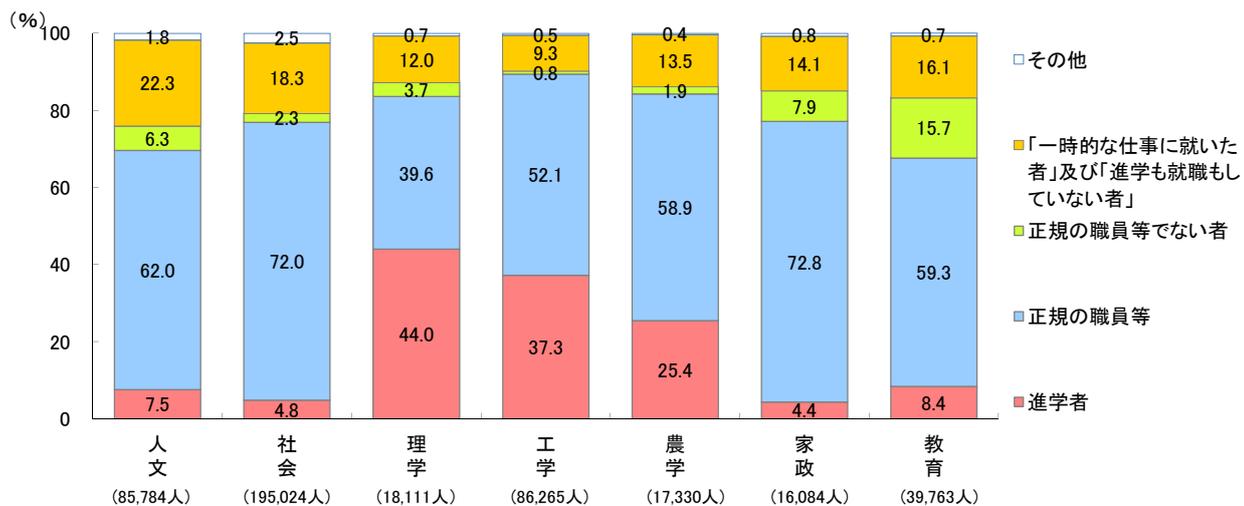
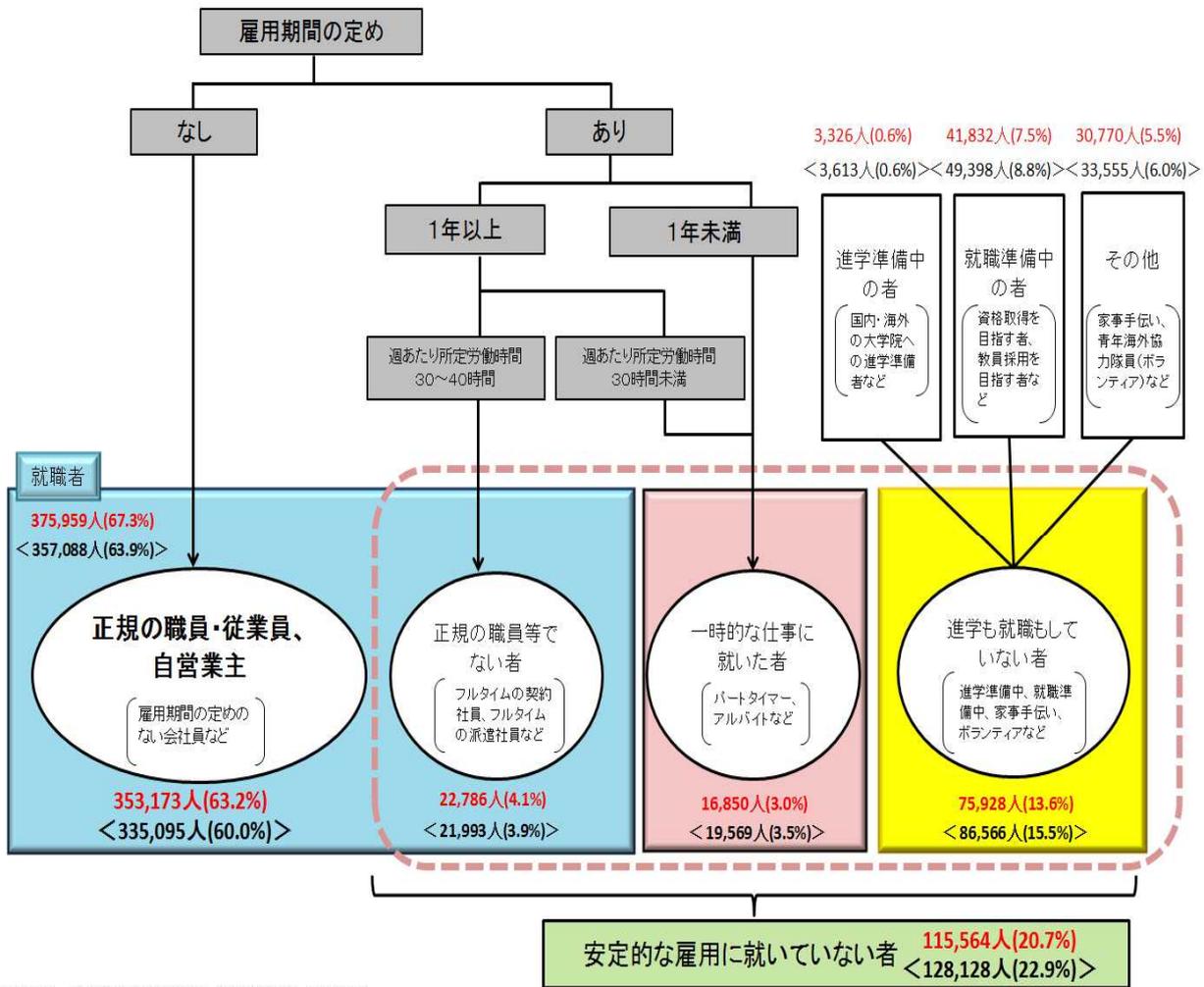


図7 分野別の卒業者の状況



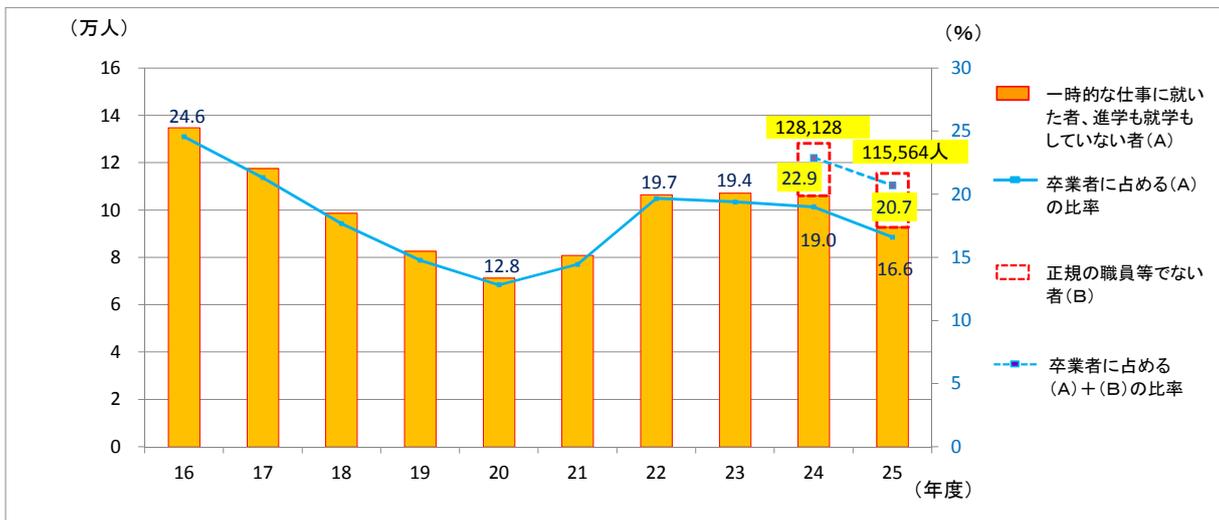
- (注) 1 各項目の数値は卒業者に対する比率である。
 2 端数を四捨五入しているため、各項目の計が100にならない場合がある。
 また、就職者には進学しかつ就職した者を含むため、各項目の計が100を超える場合がある。
 3 教育分野の正規の職員等でない者には、教員の臨時的任用を含む。

【参考】「就職者」の「正規の職員等」・「正規の職員等でない者」、「一時的な仕事に就いた者」、「進学も就職もしていない者」の関係(図8)



※数値は、大学の学部学生の数値。()は卒業者に占める割合。
 ※<>は前年度の数値である。
 ※卒業者総数は558,853人。上記内訳のほか、進学者72,821人(13.0%)、臨床研修医8,870人(1.6%)、不詳・死亡の者8,523人(1.5%)。
 また、就職者には進学しかつ就職した者98人を含む。

【参考】一時的な仕事に就いた者、進学も就職もしていない者の推移(図9)



4. 修士課程修了者

○ 就職率は3年連続で上昇し、73.7%(前年度より0.4ポイント上昇)。

表5 修士課程修了者の卒業後の状況

区分	修了者	大学院等進学者(率)	就職者(率)		一時的な仕事に就いた者(率) ②	進学も就職もしていない者(率) ③	不詳・死亡(率)	安定的な雇用に就いていない者(率) ①+②+③	
			うち正規の職員等でない者 ①	(率)				①	②+③
平成16年3月	69,073	10,339 (15.0)	45,426 (65.8)	...	873 (1.3)	9,616 (13.9)	3,028 (4.4)
17年3月	71,440	9,834 (13.8)	48,357 (67.7)	...	1,002 (1.4)	9,673 (13.5)	2,731 (3.8)
18年3月	72,531	9,560 (13.2)	50,782 (70.0)	...	1,023 (1.4)	8,618 (11.9)	2,712 (3.7)
19年3月	73,993	8,918 (12.1)	53,638 (72.5)	...	969 (1.3)	8,197 (11.1)	2,472 (3.3)
20年3月	73,881	8,348 (11.3)	55,480 (75.1)	...	961 (1.3)	7,150 (9.7)	2,158 (2.9)
21年3月	73,811	8,379 (11.4)	55,243 (74.8)	...	944 (1.3)	7,411 (10.0)	2,053 (2.8)
22年3月	73,220	9,101 (12.4)	52,278 (71.4)	...	1,099 (1.5)	8,687 (11.9)	2,281 (3.1)
23年3月	74,680	8,508 (11.4)	54,188 (72.6)	...	997 (1.3)	9,048 (12.1)	2,121 (2.8)
24年3月	78,711	8,123 (10.3)	57,659 (73.3)	2,455 (3.1)	1,199 (1.5)	10,266 (13.0)	1,692 (2.1)	13,920 (17.7)	
25年3月	76,507	7,972 (10.4)	56,381 (73.7)	2,418 (3.2)	1,270 (1.7)	9,536 (12.5)	1,565 (2.0)	13,224 (17.3)	

(注)

図10 修士課程修了者の就職率等の推移

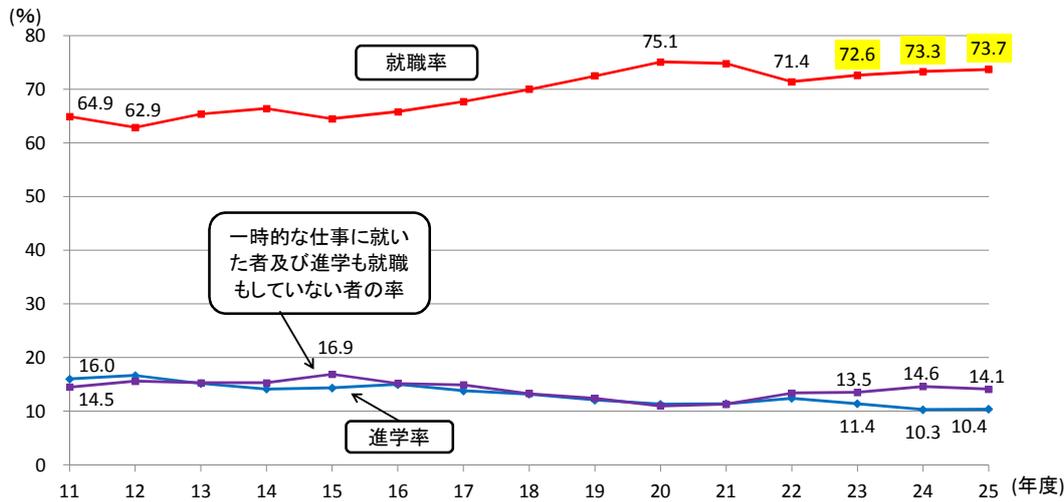
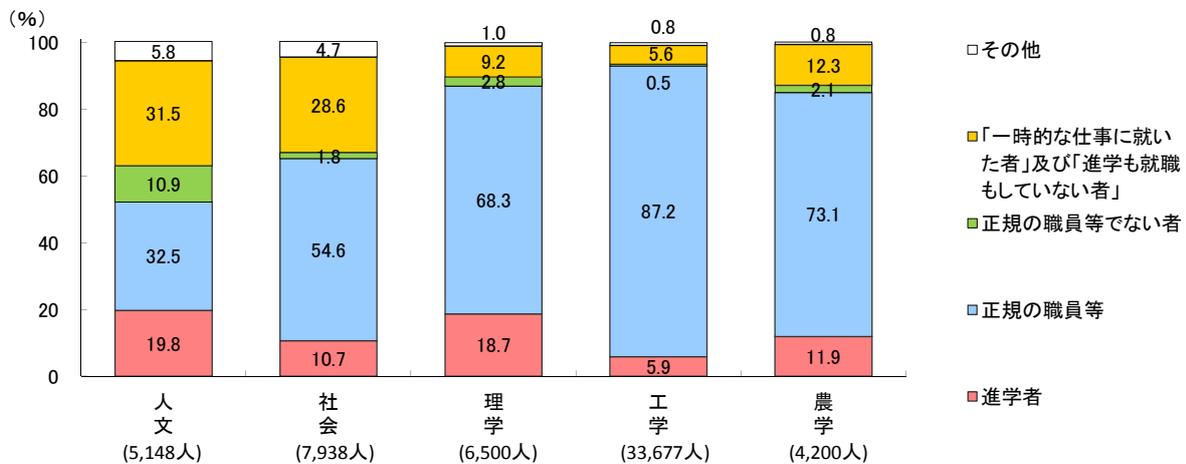


図11 専攻分野別の修了後の状況



5. 博士課程修了者

○ 就職率は65.9%(前年度より1.4ポイント低下)。

表6 博士課程修了者の卒業後の状況

区分	修了者	就職者(率)		一時的な仕事に就いた者(率) ②	進学も就職もしていない者(率) ③	不詳・死亡(率)	(人, (%))	
		うち正規の職員等でない者	(率) ①				①+②+③	安定的な雇用に就いていない者(率)
平成16年3月	15,160	8,557 (56.4)	...	492 (3.2)	3,916 (25.8)	1,736 (11.5)
17年3月	15,286	8,746 (57.2)	...	753 (4.9)	3,950 (25.8)	1,436 (9.4)
18年3月	15,973	9,167 (57.4)	...	730 (4.6)	4,216 (26.4)	1,469 (9.2)
19年3月	16,801	9,885 (58.8)	...	808 (4.8)	4,146 (24.7)	1,557 (9.3)
20年3月	16,281	10,288 (63.2)	...	695 (4.3)	3,340 (20.5)	1,569 (9.6)
21年3月	16,463	10,579 (64.3)	...	636 (3.9)	3,386 (20.6)	1,502 (9.1)
22年3月	15,842	9,812 (61.9)	...	950 (6.0)	3,171 (20.0)	1,559 (9.8)
23年3月	15,892	10,160 (63.9)	...	1,022 (6.4)	2,867 (18.0)	1,502 (9.5)
24年3月	16,260	10,937 (67.3)	2,408 (14.8)	855 (5.3)	3,003 (18.5)	1,145 (7.0)	6,266 (38.5)	
25年3月	16,440	10,829 (65.9)	2,521 (15.3)	997 (6.1)	3,081 (18.7)	1,260 (7.7)	6,599 (40.1)	
うちポストドクター等	<1,855>	...	<1,002>	<380>	<473>	...	<1,855>	

- (注) 1 博士課程の「修了者」には、所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得した後、学位を取得せずに満期退学した者を含む(以下同じ)。
 2 ポストドクター等とは、博士の学位を取得した者又は所定の単位を修得の上博士課程を退学した者(いわゆる「満期退学者」)のうち、任期付きで採用されている者で、
 ① 大学や大学共同利用機関で研究業務に従事している者であって、教授・准教授・助教・助手等の学校教育法第92条に基づく教育・研究に従事する職にない者
 ② 独立行政法人等の公的機関(国立試験研究機関、公的試験研究機関含む。)において研究業務に従事している者のうち、所属する研究グループのリーダー・主任研究員等の管理的な職にない者
 3 ポストドクター等のうち、「正規の職員等でない者」は1年以上の雇用契約かつフルタイム勤務相当の典型的なポストドクター、「一時的な仕事に就いた者」は1年未満の雇用契約又は短時間勤務の研究員、「進学も就職もしていない者」は無給の研究員が想定される。
 4 ポストドクターは年度の途中で採用される例もあり、年間を通じての採用者は上記の数より増えることが見込まれる。

図12 博士課程修了者の就職率等の推移

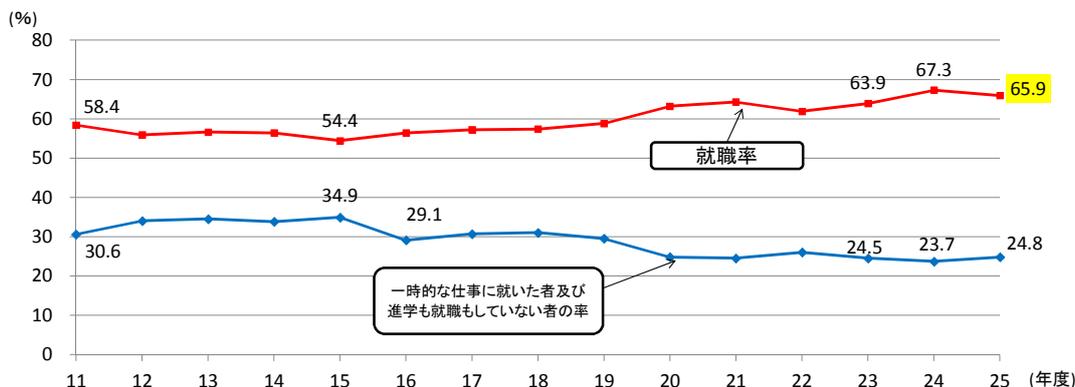
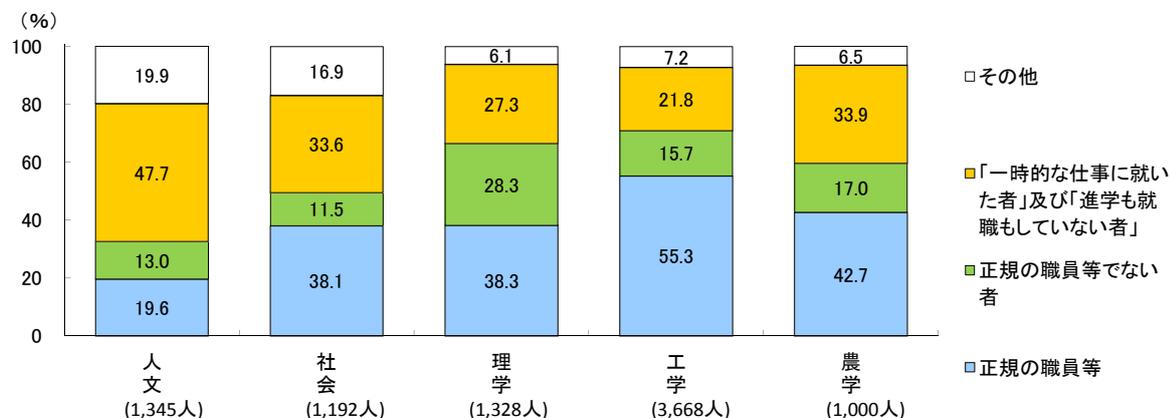


図13 専攻分野別の修了後の状況



Ⅲ. 岩手県, 宮城県, 福島県の状況

1. 在学者数の推移

○ 震災後の3県の在学者については、前年度と比べると減少幅は小さい。

図14 小学校

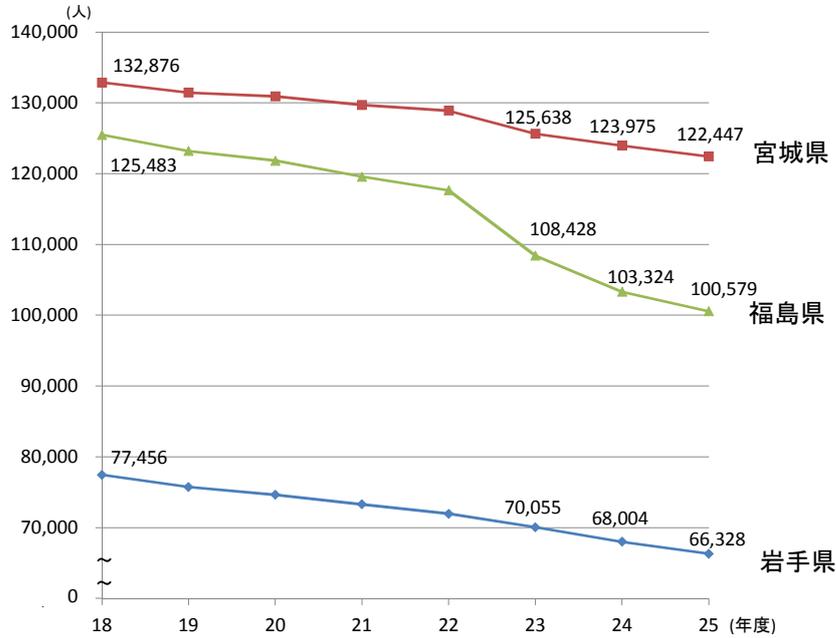
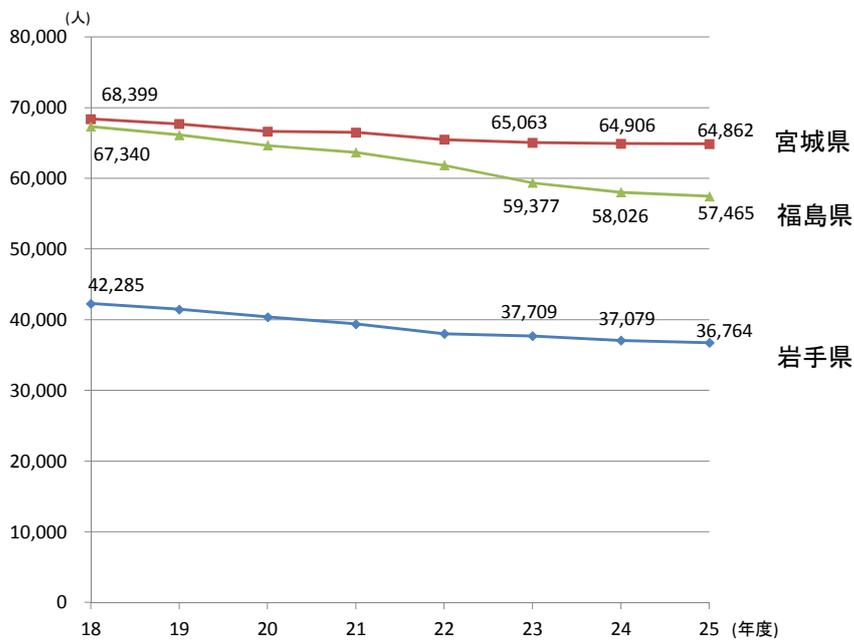


図15 中学校



2. 卒業後の状況

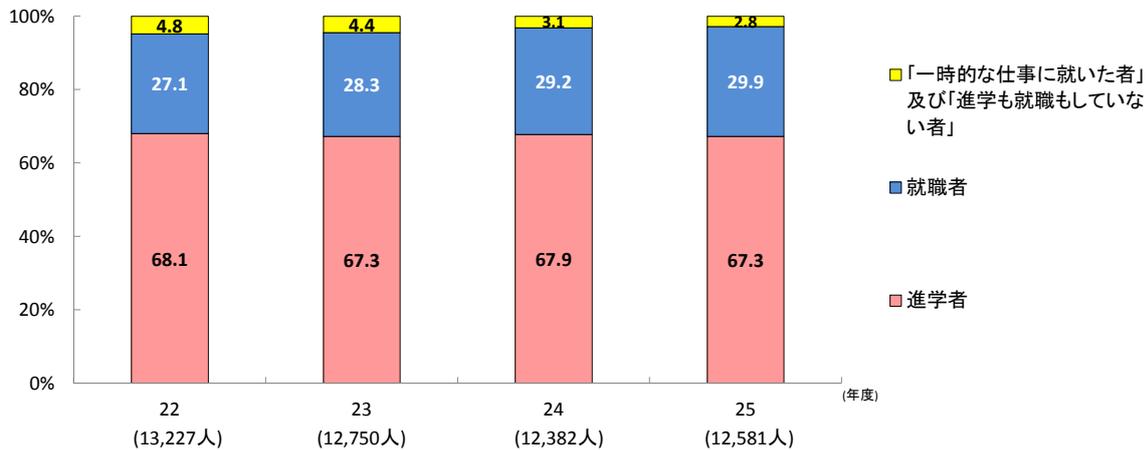
(1) 高等学校(中等教育学校後期課程含む)卒業者の状況の推移

○ 3県いずれにおいても、就職率については、全国の傾向と同様に、3年連続で上昇している。

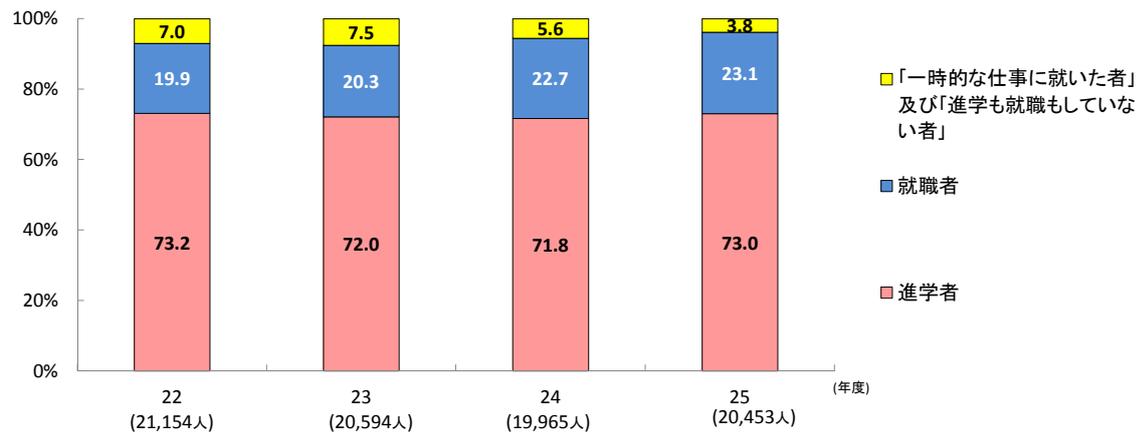
※全国平均値は、進学者77.0%(うち、大学・短大進学者(現役)53.2%),就職者16.9%,一時的な仕事に就いた者及び進学も就職もしていない者6.2%である。

(注)進学者とは、大学の学部、短期大学の本科、大学・短期大学の通信教育部、同別科、高等学校・特別支援学校高等部専攻科及び専修学校専門課程に進学した者、専修学校一般課程、各種学校、公共職業能力開発施設等入学者をいう(以下同じ)。

①岩手県(図16)



②宮城県(図17)



③福島県(図18)

